

第6回坂東PA関連事業に関する整備方針検討委員会（概要）

■日時：令和2年9月30日（水）14：00～15：20

■場所：坂東市役所 3階 大会議室

■出席者：委員

納口委員長・鈴木清副委員長・張替委員・後藤委員・鈴木功委員・
荒木委員・長妻委員・松本委員・宮部委員・田村委員・北島委員・
山口委員・金久保委員・鈴木博委員・奥貫委員

（欠席：石川委員・平勢委員）

オブザーバー委員

江波戸委員・長谷川委員・青野委員

（欠席：佐藤委員・赤羽委員・青木委員・桑名委員・大畠委員・
柏崎委員）

市・事務局

高橋都市整備課長・植本副参事・張替係長・張替主幹・小澤主幹

●議事

（1）整備・管理運営手法について

地域利便施設において採用が想定される整備・管理運営手法について、
5つの手法の説明を行った。

（2）サウンディング型市場調査について

「地域利便施設におけるコンビニエンスストア等の整備及び運営に関するサウンディング型市場調査」について説明を行った。

（3）その他

地域利便施設のコンセプトの副題及び「坂東市地域利便施設基本計画」
の公表について説明を行った。

●決定事項

○整備・管理運営手法について、民間事業者の意見を伺いながら、民間活力を
活用した手法を検討していくこととする。

●意見交換での主な内容

整備・管理運営手法について

- 地域利便施設は地域振興には必要と考えられるが、財源をどうするかは重要である。
- 民間の特性を活かし、採算性が高い手法を採用することが重要である。
- 民間活力の活用は必要だが、行政の意向も反映させた事業を実施すべきである。また、行政の意向を反映させるために必要な行政側の支出や、最低限のインフラ整備に伴う支出はやむを得ない。
- 民間活力を十分活用して進めるべきである。定期借地権方式などの行政負担が少ない手法で、行政の意向を踏まえた施設整備等、民間の事業実施において行政の意向を反映させることができる方法を取れるのであれば大変望ましい。
- DBO方式やPFI方式は、民間が収益を上げるために、採算の取れる施設設計等を行うので、事業の効率面でメリットがある。
- 今後は、どのような事業者が興味を持っているか、全体の事業費がどの程度になるのか等を踏まえて、本検討委員会で検討することが望ましい。

サウンディング型市場調査について

- この市場調査を行うことで、事業手法を検討する一つの材料になる。
- 地域利便施設の検討を進めるうえで、幅広い業種の参加者から意見を求めることが重要である。

以上